



＼コールマンオススメ！／

キャンプ 基本の持ち物リスト

キャンプサイト関連

服装



□インナー（下着）

日焼けや虫刺されを防ぐためにも、長そでTシャツも用意しておきましょう。お子さまの着替えは少し多めに。



□ミッドレイヤー（中間着）

動きやすく、体温調節のために脱ぎ着がしやすいものがおすすです。



□アウター（外着）

春秋のキャンプでは、朝晩はかなり冷え込みます。風を通さないウィンドブレーカー、フリースなどを用意しましょう。



□靴

履き慣れていて汚れてもいい靴にしましょう。防水加工されたものが安心です。また雨天の場合は、長靴があると安心です。靴下の予備も忘れずに。



□帽子

熱中症予防のために、日差しの強い時間帯は帽子をかぶりましょう。



□ズボン

虫刺されやケガの防止の意味でも、長ズボンがおすすです。ジーンズ（デニム）は厚地で濡れるとなかなか乾かないので、乾きやすい素材のものがおすすです。



□雨具

蒸れにくい素材で、上下セパレートタイプのレインスーツが動きやすくおすすです。お持ちでない場合は、ポンチョなどの簡易的な雨具でも必ず用意してください。



□テント

□付属品
（ポール・ベグ・ロープ・ハンマー）
防水加工されたフライシートが雨や結露を防ぎます。人数に応じたサイズのものをご用意ください。



□タープ

□付属品
（ポール・ベグ・ロープ・ハンマー）
調理や食事をするスペースの日よけ、雨よけの役割をします。人数に応じた広さのものが必須です。



□テーブル

食事用テーブルと調理用テーブルを用意すると使い勝手がよくなります。サイズは4人家族で120～140cmがおすすです。



□チェア

食事用テーブルの高さに合ったチェアを人数分をご用意ください。



□バッテリーランタン

テントの中や夜トイレに行く際などに使用します。出発前に点灯確認をしましょう。



□燃料系ランタン

□マントル（予備も忘れずに！）
□着火ライター
キャンプの夜は想像以上に暗いもの。光量の大きいガス・ガソリン式ランタンをおすすめします。燃料はバーナーと同じにすると便利です。



□燃料&電池

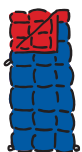
バーナーやランタンの燃料は日数に応じて用意しましょう。電池等も忘れずに！



□焚き火台

□トング □薪・着火剤
□焚き火台用シート
焚き火を楽しむなら忘れずに！

寝具



□寝袋&ブランケット

キャンプに行く季節やキャンプ場の標高などによって寝袋の適温レベルは異なります。初めてご購入する場合は、適温レベル5℃の3シーズン用をおすすめします。寒い時期にはご家庭のブランケットを追加してください。



□マット

寝袋の下に敷いて地面からの冷気や凹凸を軽減します。安眠のためには是非ご用意ください。

炊事関連



□調理器具

□バーナー（コンロ）
ご家庭にあるカセットコンロでも代用できます。
□フライパン、鍋、ライスクッカーなど



□クーラーボックス

飲み物や食材の保管に。
ソフトクーラーもたためて便利です。
□保冷剤、氷

□食器

割れやすいものは避けましょう。一人分を表記していますので、人数に合わせてご用意ください。
□お皿×2枚 □スープボウル×1個
□マグカップ×1個
□箸、スプーン、フォーク



□洗い物グッズ

□エコ洗剤
□スポンジ・たわしなど
□ゴムベラまたはスクレーパー
□かご（洗い物入れ）

□炊事道具…ご家庭で使われているものでOKです。

□しゃもじ □包丁 □おたま □箸 □まな板 □ザル・ボウル

生活用品



□飲み物

水分補給などの飲み物は、お好みのものをご用意ください。場内の自動販売機、売店もご利用いただけます。



□虫除け対策

蚊取り線香や虫よけスプレー、かゆみ止めなど。



□日焼け対策

サングラス、日焼け止めなど。

□救急用品

切り傷やすり傷、やけど、お子さまの急な発熱などに対処できるものを各自でご用意ください。



□洗面用具、お風呂セット

歯ブラシ、タオル、シャンプーなど。



□健康保険証

使いたくはありませんが…必ずお持ちください。



□軍手または革手袋

作業時には大活躍します。



□筆記用具

ボールペンや鉛筆など。

あと便利



□ヘッドライト
□ジャグ（水タンク）
□ビニール袋
□ウェットティッシュ

□キッチンペーパー
□ラップ・アルミホイル
□布ふきん・雑巾
□ナイフ・はさみ
□モバイルバッテリー
□小物干し・洗濯バサミ